

令和8年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【土屋中学校】

学力向上
アクションマップ

①	今年度の目標と学力向上策	
重点的に育成する 資質・能力	思考・判断・表現を下支えする「知識・技能」の確実な定着と自ら学びに向かう力及び、自分の考えや学習して得た知識などを筋道を立てて発表できる能力を育成する。	
↓		
実施する学力向上策 【時期・頻度】	数学については1年次少人数指導を実施し、よりきめの細やかな授業を実践する。【通年】 定期試験前に放課後自主学習教室を開設し生徒の自発的な学習を支援する。【定期試験前 各3回程度】 学級活動等で話し合い活動を活性化させ自己の考えを根拠を示しながら発表できる機会を持つ【通年】 スタディサプリ「ドリルパーク」等、知識・技能を育成する教材を活用し、授業内だけでなく、課題として配信・配付することで、基礎的・基本的な内容の反復練習の機会とする。【1か月に1度以上】	

⑤	年度末評価	
学力向上策の 実施状況	評価(※)	①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等
↓		
今年度の成果と 次年度の課題	結果提供(2月)	

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

②	全国学力・学習状況調査結果の分析	
特徴的な結果	調査の振り返り(4月) ①児童生徒による振り返り ②調査問題の解説 ③振り返りの終了報告	
↓		
結果から考えられる 児童生徒の実態	①学校全体での取組 ②単元テスト・定期テスト等の分析・活用 ③調査問題を活用した授業	

④	さいたま市学習状況調査結果の分析	
特徴的な結果	さいたま市学習状況調査(5月) <小1～中3>・(11～12月)	
↓		
結果から考えられる 児童生徒の実態	①学校全体での取組 ②単元テスト・定期テスト等の分析・活用 ③中間評価を経ての取組 ④調査結果を活用した授業	

③	中間評価	
学力向上策の 実施状況	評価(※)	①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③児童生徒の実態把握 夏期職員研修等
↓		
学力向上策の 見直し	中間評価(9月) 課題・策の見直し	

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

ざらざら(楕円)

児童生徒の
学力の向上

教育研究所